

ダム管理演習訓練の実施

(災害警戒時および突発事故発生時の訓練)

【備える】

【内容】

ダム放流時における危険防止の措置（関係機関への通知、放流警報等の一般への周知）およびダムの洪水調整操作を的確に行うための演習を行う。

演習事項として、台風接近を想定し演習を実施。

○演習事項

1) 通知・連絡、放流警報等の演習

- ①放流の際の関係機関に対する通知および電話による着信確認
- ②放流の際の一般に通知するための措置として、警報局からのサイレンおよびスピーカーによる警告
- ③警報車による巡回パトロールおよび拡声器による警告

2) ゲート操作の演習

- ①指揮は事前に作成したハイドログラフと所員が行うゲート操作状況により、水位変動量を計算し、水位のみを時々刻々所員に伝達する。
- ②ダム班の所員は、貯水位とゲート開度から流入量を推定し、操作規程または管理規程に基づいて次の時刻のゲート開度を決定する。
(商用電力が停止したものとして、ゲート開度の計算は原則として手計算で行う。)

3) 危機管理の演習

- ①商用電源ダウンを想定し、予備発電機による切替運転を実施する。
- ②ゲート遠方制御不能を想定し、機側操作盤による想定操作を行う。

【効果】

- ・ダム管理演習訓練の実施により、放流時における作業手順を確認するだけでなく、それによって発生するリスク確認が可能となる。
- ・関係機関と合同で演習を行うことにより、職員だけでなく相手方の意識向上も図れる。
- ・情報伝達要領や各担当別留意事項を作成することにより、スムーズな演習が可能となる他、職員全員が作業に携わることができる。
- ・演習実施時に警戒作業に関する機材等の点検も行える。